

# 平成 28 年度事業報告書

(平成 28 年 4 月 1 日から 平成 29 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人しょうがい生活支援の会すみか

## 1. 事業実施の方針

「障害の有無を問わず誰もが自己実現できる社会づくり」「24 時間 365 日このまちで安心して暮らせるシステムづくり」という本法人のミッションに基づき、引き続き事業を展開した。

法人の収益の軸となる事業に於いては、さんかく及び放課後児童クラブゆうの支援を充実させ、利用の拡大とさらなる信頼の向上を図る。他の事業についてもこれまでの蓄積を大切にしながら、今後の中長期的視点に立った運営を行った。

事業についてはほぼ計画通りに行うことができた一方、職員不足が慢性的な状況のため、事務局基盤の安定化や NPO 法人化 10 周年記念事業などに取り組むことができなかった。

## 2. 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

上記の事業実施の方針を具現化するため、以下の事業を行った。

#### ① 障がい児・者の休日支援事業

支出額 10,689 千円

##### A. 中原特別支援学校放課後児童健全育成事業（委託事業：みやき町）

障害のある児童がリラックスして楽しめる環境を提供し、就学時間終了後及び長期休暇期間中に安全且つ安心して過ごせる場となるよう目指した。また、学校の在籍児童数の増加により事業の実施場所の変更を余儀なくされ、平成 29 年 3 月に校内の別教室に引っ越し、占有利用ではなく共用利用となった。

実施日：（開所日数）計 285 日

月～金曜 14:00～18:00

土曜・長期休暇中 9:00～17:00（8:30～18:00 の延長あり）

実施場所：中原特別支援学校多目的室

スタッフ数：1日当たり6名

対象者：中原特別支援学校に在籍する児童・生徒

対象人数：(延べ) 2,982名

B. 障がい当事者と家族の余暇支援プログラム

(補助事業：佐賀県地域福祉振興基金)

障害の種別を問わない多様な障害当事者及び家族が集い、屋内外で楽しめるプログラムによって、仕事や学校などの日常とは違うホッとできる時間づくりを行った。

実施日：動作法10日、外出活動4日

実施場所：さんかく(動作法)

ボウリング、海きらら、九州国立博物館、

ストロベリーフィールズ(外出活動)

スタッフ数：

(延べ) 講師16名、ボランティア67名、事務局13名(動作法)

(延べ) ボランティア16名、事務局8名(外出活動)

対象者：障害のある人及び家族

対象人数：(延べ) 利用者・家族68組(動作法)、20組(外出活動)

② 障がい者の就労に関する事業

支出額 210千円

リサイクルショップくるり

寄せられた不用品や作業所等で作られた野菜等の商品販売等を通して、障害のある人の社会参加の促進を目指した。

実施日：通年

実施場所：地域行事、及び事務所

スタッフ数：(通年) 事務局2名

対象者：(延べ) 障害のある人や関係者1,000人

③ 福祉に関する相談支援事業

支出額 33千円

コミュニティサロン

障害の有無にかかわらず様々な人が集える居場所づくりを行った。その中で見いだされた問題・課題に関しては、ピア・サポートを中心とした対応を行った。

実施日：毎月第2水曜日 10:00～15:00

実施場所：事務所

スタッフ数：(通年) ボランティア2名、事務局2名

対象者：(延べ) 一般市民161名

#### ④ 障がい児のきょうだい支援事業

実施なし

#### ⑤ 健康増進事業

支出額 1,051千円

こころとからだの健康教室ほっと

腰痛・肩こり・不眠などでお困りの方に動作法を行い、リラックスしていただいた。

実施日：月曜～金曜 9:00～18:00

実施場所：事務所、など

スタッフ数：(通年) トレーナー1名、事務局1名

対象者：一般市民

対象人数：(延べ) 28名

#### ⑥ 福祉啓発事業

支出額 463千円

##### A. 障害に関する啓発事業（委託事業：鳥栖市）

障害のある人への理解を促進するため、出前講座での啓発活動を行った。

実施日：6/27、10/8、10/25、12/26

実施場所：鳥栖北まちづくり推進センター、栖の宿、弥生が丘小学校、  
ひかり園

スタッフ数：(通年) 1名

対象者：一般市民

対象人数：(延べ) 224 名

B.エンパワーメントセミナー事業（委託事業：鳥栖市）

障害当事者がそれぞれの立場や団体の利害関係を超えて集える場所『ほっとスペース』を開催し、楽しい時間を過ごしたり、悩みを共有したり、情報交換できる場所とした。

実施日：平成 28 年 5 月～平成 29 年 2 月（10 回）

実施場所：鳥栖市社会福祉会館

スタッフ数：(延べ) 講師 28 名、ボランティア 51 名、事務局 15 名

対象者：(延べ) ぴあ CAFE54 名、おや CAFE87 名、あなたの相談室 11 名  
保育 46 名

C. 研修・交流事業

テーマや対象者に合わせた研修会や出張講演・交流事業を行い、障害福祉に関する理解を深めた。

ア・出張講演

実施日、場所：

- 2016/05/19 [福岡] 九州大学（人間環境学コロキウム）  
【ひとのくらしと夢を支える 共生社会の実現に向けて】\*シンポジスト
- 2016/05/21 [佐賀] 金立特別支援学校（ボランティア養成講座）  
【障害のある子どもと過ごすボランティア】\*講師
- 2016/06/16 [太宰府] 筑紫女学園大学（肢体不自由者の心理・生理・病理）  
【障害って何だろう!?～誰もが自分らしく暮らせる社会～】\*講師
- 2016/07/16 [佐賀] 合同会社スロープ（障害者差別解消法を知ろう）  
【みんなで話そう!!障害者差別解消法～変わったこと、変えたいこと】  
\*進行（ファシリテーター）
- 2016/09/29 [筑後] 筑後市社会福祉協議会（第 52 回市民福祉のつどい）  
【サポ-1 グランプリ】\*審査員
- 2016/10/06 [多久] 多久市人権・同和教育講座（心のセミナー）  
【障害って何だろう!?～誰もが自分らしく暮らせる社会～】\*講師
- 2016/10/12～14 [佐賀] 佐賀県（佐賀県自治修習所コンピテンシー能力開発研修）  
【すみか活動紹介】\*話題提供
- 2016/11/01 [嬉野] 塩田工業高等学校（課外授業～みんなちがってみんないい～）  
【障害って何だろう!?～誰もが自分らしく暮らせる社会～】\*講師
- 2016/11/14 [三養基] みやき町こども応援隊  
（誤解されやすい子ども達と地域 パート 5）  
【誰もが安心して暮らせる街であるために】\*聞き手
- 2017/01/26 [嬉野] 佐賀嬉野バリアフリースペースセンター（嬉野ガイド研修会）  
【車イスの方への対応について】\*講師

- 2017/02/13 [佐賀] 佐賀市 人権・同和政策課（企業向け人権セミナー）  
【障害って何だろう!?～誰もが自分らしく暮らせる社会～】\*講師
- 2017/03/01 [佐賀] 佐賀大学（FD講演会）  
【大学の教職員が今知っておくべきこと「障害者差別解消法」とは?～障害をもちながら社会で主体的に生活できることを保障する画期的な枠組み～】\*講師
- 2017/03/05 [福岡] 福岡・障害者と暮らしを創る会  
（障害者自身が発信するフォーラム）  
【自己決定を学ぶ】\*総合司会、ファシリテーター
- 2017/03/06 [佐賀] 佐賀県療育支援センター（療育関係機関ネットワーク会議）  
【地域で支える子どもの育ち～子ども部会の役割と今後の展望について～】\*講師
- 2017/03/14 [佐賀] 佐賀県障害福祉課（佐賀県障害者差別解消支援地域協議会）  
【共に生きる社会に向けて～障害の理解と対応方法、社会に求められる役割・責任～】\*講師

スタッフ数：（通年） 1名

対象者：（延べ） 会員、福祉関係者、一般市民、等 1,500名

#### イ・メディア関係

- 2017/01/29 [佐賀] えびすFM（ラジオ）  
【ランドリーの Choice World】
- 2017/02/08 [佐賀] えびすFM（ラジオ）  
【佐賀FUN倶楽部・よかかんた～】

- ⑦ 障がい児・者を取り巻く福祉・教育・就労等に関する調査・研究事業  
実施なし

- ⑧ 児童福祉法に基づく事業

支出額 17,358千円

多機能型事業所さんかく

障害のある子ども達の健やかな成長を支援するために、児童発達支援及び放課後等デイサービス事業を行った。

実施日：児童発達支援 月曜～金曜 9:00～14:00

放課後等デイサービス 月曜～金曜 14:00～17:00※延長 18:00

土曜 9:00～17:00(9:00～13:00、13:00～17:00の2部制)

長期休暇 9:00～17:00※延長 8:30～18:00

実施場所：さんかく（みやき町白壁）

スタッフ数：1日当たり3名以上

対象者：児童発達支援・未就学の児童

放課後等デイサービス・就学期の児童

対象人数：(延べ) 2,257名

⑨ 障害者総合支援法に基づく事業

実施なし

⑩ 上記の事業を達成するために必要な事業

支出額 0千円

A. NPO法人化10周年記念事業

実施なし

B. 市民協働事業

当法人のミッション達成にも通じる活動を行う市民活動団体と協働しての事業を行うと共に、各種審議会等の委員としての政策提言等を行った。

ア. 幸せの黄色いレシートキャンペーン※さんかく名義で  
(イオン上峰ショッピングセンターに参加)

イ. 鳥栖・三養基地域自立支援協議会(構成団体として)

ウ. 鳥栖市障害者理解促進事業(芹田：委員として)

エ. ふれあいスクール(芹田：校長として)

オ. 鳥栖市市民活動支援補助事業検討懇話会(芹田：委員として)

カ. 佐賀県スポーツ審議会(芹田：委員として)

キ. 鳥栖市まち・ひと・しごと創生有識者会議(芹田：委員として)

(2) その他の事業

特定非営利にかかる事業を滞りなく実施するため、以下の事業によって収入の確保に努めた。

① 自動販売機設置事業

支出額 13千円

本法人を支援する個人宅や企業内に自動販売機を設置し、特定非営利活動に係る事業を資金面で補填した。また、設置に際しては販売機にその設置趣

旨を明記し、啓発広報にも活用した。

実施日：通年

実施場所：本法人を支援する個人宅や企業内（2箇所）

スタッフ数：（通年）2名